

エネテックグループからの情報をお伝えします

ENETECH INFO

エネテック東日本支社東北営業本部を開設しました

2022年7月1日、仙台にエネテック東日本支社東北営業本部を開設しました。これまで東北エリアの案件は関東支社で対応してきましたが、今後はこの東北営業本部で迅速に対応していきます。エネテックの強みの一つである“全国対応の国内10拠点”その体制がさらに強化されたということです。



事務所があるのは仙台市青葉区。その名の通り緑が豊かな街並みです。事務所の前は広い公園で、窓を開ければ緑が目の前に広がる素敵な場所です。

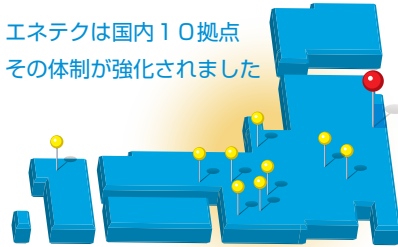
事務所へのアクセスですが、仙台駅より1.7km(徒歩約22分)とちょっと距離がありますが、弊社が契約している仙台駅近くの「SPACES仙台」で打ち合わせを行うことも可能です。



東北エリアの地方創生にも着手

この新たな拠点を活用し、東日本エリアにおける事業拡大、お客様へのサービス向上を図っていきます。また東北エリアの地方創生にも取り組んでいきます。

エネテックは国内10拠点
その体制が強化されました



エネテック東日本支社東北営業本部

〒980-0822
宮城県仙台市青葉区立町 20-10
ピースビル西公園 3-B

TEL.022-302-5822
FAX.022-302-5823



東匠建設は注文住宅だけじゃない!! 商店街にサウナ、災害に強い施設も

エネテックホールディングスグループの住宅工務店「東匠建設」は“気ごこちのいい家”として、きれいな空気、気持ちよさの中で暮らす居心地のいい家づくりで多くのお客様から支持されています。

これまでは注文住宅を中心に手掛けていましたが、今、新たな分野にも取り組んでいます。

NAGONO WORKBAR & SAUNA

名古屋市西区円頓寺商店街に新たにOPENした話題のスポット「NAGONO WORKBAR & SAUNA」のサウナフロアを東匠建設で施工させていただきました。



多様な働き方をサポートするワークスペースに集まる感覚の高い人々にご満足いただけるよう、東匠のノウハウを惜しみなく投入しています。

デザイン+機能面で優れるシラス壁

エントランスからサウナまでの空間には注文住宅でも好評のシラス壁を採用。自然素材のシラスは消臭や調湿効果に優れ、消臭・分解・抗菌・イオン化などの機能を発揮すると考えられています。さらに抗ウイルス性能があることも試験において明らかになっています。この機能性に加え漆喰系の壁は高級感があり凹凸もあって見栄えもよいのも特長です。



こだわりのサウナスペース

サウナ機器は施主様のご希望でフィンランドのHARVIA製を導入。木材は岐阜県で有名なヒノキを採用、サウナ横のベンチもヒノキ



で造作しました。またシャワールーム周辺には高級感あるタイルを採用するなど、こだわった空間を作り上げました。



災害に強い施設づくり

東匠の家は断熱性能が高く、また太陽光発電や蓄電池が装備され、万が一の災害時にも快適に暮らせる工夫が随所にされています。

そこにエネテックの再エネ、省エネ、BCP対策のノウハウが加わった“災害に強い”医療施設や公共施設などのプロジェクトも始まっています。

住宅以外もご相談ください!

グループのシナジーを活かしてお客様に最高品質の建物をご提供します。注文住宅はもちろん、ご自宅や会社にサウナを作りたい、災害に強い施設を作りたいという方はぜひご相談ください。



ENETECH TIMES

[エネテックタイムズ]

CONTENTS

- 猛暑による今年特有の不具合
- パワコン停止に気づかない? ~ 遠隔監視システムの落とし穴
- 発電事業者も再エネシフト
- エネテック東北営業本部開設 / 注文住宅だけじゃない東匠建設

2022年 9月号
vol.30

ソラパト魂

今年の猛暑は「異常な状態」

まだ暑い日が続きますが、気象庁の見解によれば2022年の夏の猛暑が「異常な状態だった」とのこと。6月下旬の平均気温年差は、東日本で+4.0度、西日本で+3.2度となり、統計開始以降の1位を更新しています。日本付近で上空の気流が大きく蛇行し、そこに太平洋高気圧などが記録的に勢力を強めたことが原因とのことですが、猛暑や豪雨など、この異常気象により太陽光発電所では例年になく不具合が見られました。今回はその中からいくつかをご紹介します。



原因となる積乱雲の発生頻度は温暖化が影響しているという話も聞きます。

変圧器の油温上昇

さらに、今年は連日の猛暑で熱中症も多発しましたが、人と同様に発電所に設置されている機器も音を上げる状況になっていました。

高圧・特別高圧の発電所では、発電した電気を昇圧し系統に送るための変圧器が設置されています。多くの変圧器では、絶縁と冷却を確保するために内部に油が用いられており、点検者はこの油温の変化もチェックしております。



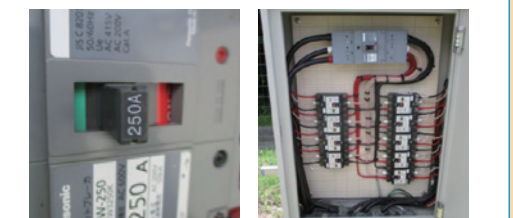
変圧器(左)と油温計(右)

この油温が、猛暑により最高温度を更新し上限ギリギリの値となりアラートが発生する事態が発生しました。上限を超えた場合はPCSが停止することとなり、当該発電所の場合は1つのPCSが停止すると3MW程度が停止することとなり、大変な損害となってしまいます。そこで弊社からは、この変圧器を収納するコンテナの上部に遮熱塗料を塗り温度上昇を抑える提案をさせていただきました。

主幹ブレーカーのトリップ

ある低圧の発電所で、発電所のレイアウト上どうしても直射日光が当たってしまう位置に取り付けられた交流集電盤があるのですが、その内部の温度が上昇し、熱動式ブレーカーが、経年劣化と相まって許容電流

が低下してしまい日中頻繁にトリップしてしまう事象が発生しました。一度は点検者が安全性を確認し投入したものの、数時間後に再度トリップしてしまったため、現在はブレーカー交換を実施し経過観察をしております。



トリップしたブレーカー 交換後の盤内状態

発電設備に使用している機器は、これまでの経験をもとに設計・選定されているかと思いますが、今後は想定外の外気温に対応した設計が必要になってくるのではないのでしょうか。

猛暑は発電量にも影響

他にも熱によりPCSが温度上昇抑制で停止や発電量を絞るなどの現象が発生したり、一般に結晶系モジュールも熱に弱く発電量が低下してしまう傾向にあり猛暑は発電量への影響も少なからずあったと予想されますし、猛暑の影響が今後何らかの不具合を引き起こすことも危惧されます。

太陽光発電設備の気になることはお気軽にソラパトにご相談ください。



ソラパトスタッフが、日々の活動や不具合事例など、生の情報をご紹介します。
https://solarpat.com

ソラパトブログ
で最新情報
発信中!



先進技術の、その先へ。
ENETECH
株式会社 エネテック

- 【 本 社 】 愛知県小牧市間々27-1
- 【 中 部 支 店 】 名古屋市中区丸の内3丁目17-4 第11KTビル9F
- 【 関 東 支 店 】 さいたま市大宮区三橋3丁目162
- 【 関 西 支 店 】 兵庫県西宮市松原町4-1 西宮ステーションビル3F
- 【 東北営業本部 】 宮城県仙台市青葉区立町20-10 3-B
- 【 福 岡 営 業 所 】 福岡県福岡市西区豊浜2-11-16 2F
- 【 金沢サービスステーション 】 石川県金沢市大額3丁目136 緑樹II 3号室
- 【 群馬サービスステーション 】 群馬県藤岡市藤岡935 レジデンスセシモ3F
- 【 伊勢サービスステーション 】 三重県伊勢市藤里町345-3 A棟101号
- 【 京都サービスステーション 】 京都府京都市中京区柳水町84番地 三洋六角ビル505

【お問い合わせ】
0120-920-137
info@enetech.co.jp

Solarpat NOW

パソコン停止に
気付かない?

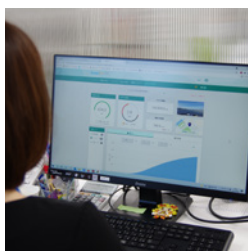
監視センターは
見ていた!

遠隔監視の落とし穴

開設から5年目を迎えたソラパト監視センター。日々数百件のアラートメールの確認を行っていますが、パソコンが停止していてもアラートが届かないケースもあります。今回はそのような異常に気付いた事例をご紹介します。

約40種類の遠隔監視装置に対応

ソラパト監視センターではエネテック以外が施工した発電設備も監視させていただいておりその数は1,000か所以上、監視している監視装置に関してはメーカーや仕様も様々で、その数は約40種類もあります。そこから得られる情報も様々ですが(特定の監視装置に関してはありますが)パソコンの停止に気付けないケースをご紹介します。



遠隔監視装置のデータ取得方法

太陽光発電設備を遠隔監視するための代表的なデータ取得方法には

①CTセンサーによる取得

②パソコンとの通信による取得

があります。①のCTセンサータイプではパソコンの電流値や発電量が計測できるのに対して②は電流値だけではなく、パソコンごとの発電量やアラートの発生、出力抑制など多くの情報を取得することが可能です。②の方が多くの情報が分かるのですが、監視装置もしくはパソコンが遠隔監視に対応しているか否かで①か②が選択に影響したと思われます。出力制御が必要になった昨今は②のタイプに置き換わっていく傾向があります。今回取り上げるケースはFIT(固定価格買取制度)が始まった頃に小容量のPCSと組み合わせて多く導入されたCTセンサータイプの遠隔監視装置で生じています。

3つの電流センサータイプは要注意

CTセンサータイプであってもパソコン1台1台にセンサーが取り付けられていれば、そのパソコンが停止すれば、電流はゼロとなり、遠隔監視で瞬時に察知することが可能

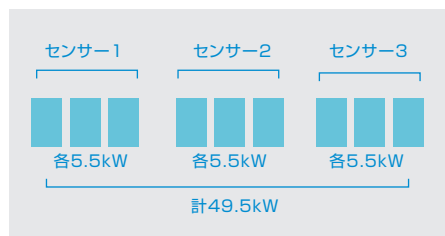
です。ところが当時使用されていた遠隔監視装置には、CTセンサーが3個実装されている仕様のものが、特に低圧の発電所に導入されているケースが数多くありました。

1つのセンサーで複数のパソコンを

3台以上のパソコンの監視をする場合には、複数のパソコンを1つのセンサーで監視することになり、その場合に今回の“パソコンの停止に気付けない”状況となります。具体的な例を挙げてみます。

例① 5.5kWのパワコン9台の構成

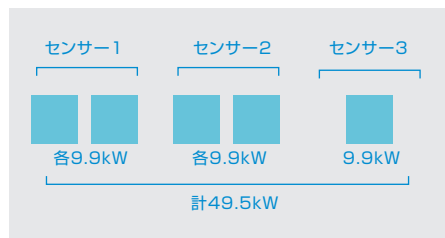
定格出力5.5kWのパワコン9台で構成している49.5kWの低圧発電所の場合、1つのセンサーがパソコン3台分の発電量を計測して監視します。



正常に発電していれば、3つのセンサーの計測データはほぼ同じになり、もし1台のパワコンが停止したとすると、1つのセンサーのデータが2/3になります。

例② 9.9kWのパワコン5台の構成

49.5kWで定格出力9.9kW×5台の構成の場合は、2つのセンサーは2台、もう1つは1台のパワコンの電流値を測定します。1つのセンサーで2台を監視しているうちの1つが停止した場合、発電量は1/2になります。



遠隔監視装置のアラートは発電量が1/2を下回った場合にアラートが飛ぶよう設定されているのが一般的で、その場合はこれらの発電量低下に対してはアラートが飛ばない可能性があります。では閾値を66%くらいに上げれば良いのでは?と思えますが、異常が無くても頻繁にアラートが発せられるようになるケースが多く経験的に1/2に設定しているということなんです。

オペレーターが気付いたパソコン停止

実際、アラートが無いために、パソコンの停止を見逃していたという話も耳にします。一方でご契約いただいている発電所をWEB経由で日々監視しているソラパト監視センターでは監視データからパソコン停止を察知することが可能です。

1つの例ですが、例①の構成の発電所を遠隔監視で見たところ、ほぼ同じ数値となるはずの3つのセンサーが他の約2/3の数値を計測しており、パソコン1台の停止が疑われました。監視センターからの指示で現地にソラパトスタッフが駆け付けると予想通り1台のパワコンが停止していました。日々の監視があったからこそ気付くことができたわけです。ソラパト監視センターは365日、お客様の太陽光発電設備を見守っています。

ソラパト監視センターによる遠隔監視は、ソラパトで年間のご契約をいただき遠隔監視装置を設置されているお客様が対象となります。ご興味のある方はお気軽にエネテック営業担当にお問い合わせください。

日経メガソーラーにトラブル事例連載中!

WEBサイト日経メガソーラービジネスにエネテックの取材記事が連載されています。今回の遠隔監視の記事など太陽光発電設備のトラブル事例を紹介しています。

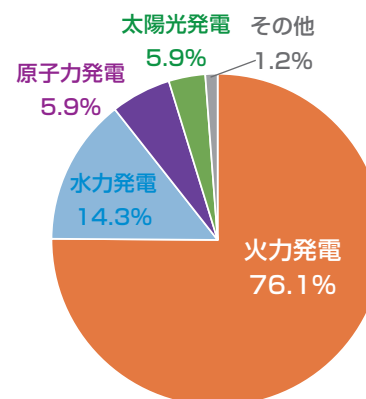
気になるNon-FIT

原料の値上がり+カーボンニュートラル推進

発電事業者も再エネシフト加速?!

前号ではNon-FITに関する概要的な紹介をさせていただきましたが、これから何号かに分けて具体的な事例などを取り上げていこうと思います。今回はNon-FITではありませんが分かりやすい事例をご紹介します。

国内の発電量は火力発電が3/4



2022年4月の国内発電実績
資源エネルギー庁資料より

日本では2011年の東日本大震災以降、それまで30%以上を占めていた原子力発電の割合が減少し、その不足分を補う形で火力発電が増加しました。太陽光発電もFITの影響やここ最近の脱炭素の流れもあり加速的に増えてきましたが、全体からするとその割合はまだ多くはありません。

上がり続ける電気料金

このところ電気料金がどんどん値上がりしています。ロシアのウクライナ侵攻に伴って火力発電の燃料である液化天然ガス(LNG)や石炭などが高騰したためです。大半を火力発電に頼っているわけですから、電気代にも大きく影響するわけです。

発電事業者も再エネシフトへ

この問題は私たち生活者以上に発電事業者にとって大きな問題であり、発電コストが上昇して、また環境面でも問題視されている火力発電から発電コストのかからないクリーンな太陽光発電にシフトするという大きな動きが見られます。今年の2月には東京電力と中部電力の火力発電部門を統合した国内首位のJERAが国内の太陽光発電事業に参入し、今後5年ほどで100万kW以上の発電所をつくると発表しています。他の発電事業者も再生可能エネルギーの発電へと移行していくことが急務となり、大規模な太陽光発電所の開発計画が加速すると思われます。

太陽光発電の用地はあるのか?

前号でご紹介した自己託送等と比べ、発電事業者が発電所を所有して発電～売電するには時間もかかりません...とはいうものの、国内にはFITの時代に太陽光発電所が乱立し、もう適した土地が少ないのでは?と懸念される方もいらっしゃると思います。



しかし、結論から言いますと“適した土地はまだあります”。弊社ではこれまでの太陽光発電設備の施工や売買、メンテナンスを通して培った独自のネットワークがあり、日射条件やメンテナンス性、送電網など含めて適した土地かどうかの評価も含めた土地情報を持っています。またご希望に合った土地をお探しすることも可能です。

ゴルフ場は太陽光に適している

例えばゴルフ場跡地。ゴルフ場として開発済みであり、コースの地目は雑種地でフェアウェイは平坦のためパネル設置しやすく、もともと池などの設備があって排水計画に利用できる。などゴルフ場跡は太陽光に向いているといえます。ゴルフ場の広さにもよりますが弊社が扱った案件では約20MWの発電設備の設置が可能でした。もちろんゴルフ場以外にも太陽光に適した土地はまだあります。

エネテック法人営業部が担当します

こういった大型の土地が絡む案件はエネテックの法人営業部が担当させていただいております。少数精鋭のスタッフが全国を駆け回って優良な土地や発電所情報を集めています。自己託送なども含め、ご興味のある方はぜひご相談ください。

次号からはNon-FITの事例などをご紹介させていただきます。

電気・太陽光のプロが査定するあんしん

査定、売買もソラパトにお任せください!

- O&Mのプロだからできる高値査定
- 信頼査定で売却もスムーズ
- 故障した発電所も高値査定

☎0120-920-137 <https://solarpat.com> ソラパト 検索



発電所や
遊休地の売却も
エネテックへ

条件次第では売却・転売を検討したいという方も、お気軽にお問い合わせください。